

会津若松 市民憲章だより

編集・発行
会津若松市民憲章推進委員会
(会津若松市 環境生活課内)
〒965-8601
会津若松市東栄町3番46号
電話 0242-39-1221
FAX 0242-39-1420

令和2年3月1日号
(2020年)



来場された皆様と一緒に市民憲章の唱和を行いました

市民憲章表彰式

令和元年11月12日に会津若松市文化センターにおいて、市民憲章表彰式を開催しました。

表彰式では、花園コンクールにおいて努力と工夫を重ね、きれいな花壇をつくられた団体の方々と、作文コンクールにおいて優秀な成績をおさめられた児童・生徒の皆さんに表彰状の贈呈を行いました。

また、作文コンクールの各部門において最優秀賞を受賞された4名の方には作文を発表していただき、会場から温かい拍手が送られました。

なお、花園コンクールと作文コンクールにおいて最優秀賞を受賞された皆様を2ページに掲載しています。

会津若松市民憲章

昭和43年5月3日制定

- 一、親切をつくし
住みよいまちをつくりましょう
- 一、きまりを守り
明るいまちをつくりましょう
- 一、健康で働き
豊かなまちをつくりましょう
- 一、環境をととのえ
美しいまちをつくりましょう
- 一、自然と文化財とを愛し
ゆかしいまちをつくりましょう
- 一、教養を高め
文化のまちをつくりましょう

市民憲章表彰式において 最優秀賞を受賞された皆様

(敬称略)

令和元年11月12日に会津若松市文化センターにおいて、市民憲章表彰式を開催いたしました。最優秀賞を受賞された皆様は次のとおりです。

1 ページに表彰式の記事を掲載しています。

花園コンクール最優秀賞

▼学校の部

謹教小学校
大戸小学校
東山小学校

▼一般・団体、事業所の部

崎川集落資源保全会
橋本花壇愛護会
東部公園・石山11号緑地
緑化愛護会

作文コンクール最優秀賞

▼絵日記の部

小金井小一年 長峰 愛花

▼小学二・三年生の部

城北小二年 星 明希

▼小学四・五・六年生の部

鶴城小四年 菅原 杏樹

▼中学生の部

一箕中三年 佐藤 結菜

4ページと5ページに作文コンクールの最優秀賞作品を掲載しています。

花園コンクール 最優秀賞受賞花壇



東山小学校



大戸小学校



謹教小学校



東部公園・石山11号緑地緑化愛護会



橋本花壇愛護会



崎川集落資源保全会

花園コンクール

学校、団体、個人を対象に「花園コンクール」を実施しています。写真展も開催し、市民の方の投票結果も合わせて審査を行いました。高温や少雨の中、皆様方の努力できれいな花が咲いていたことに、頭が下がる思いです。

また、きれいなお庭をあちこちで見かけるようになり、うれしく思います。

観光都市会津若松市を花と緑に囲まれた美しいまちにしていきたいでしょう。

作文コンクール

市民憲章条文のひとつ「教養を高め 文化のまちをつくりましょう」をテーマにして、市内の小中学校からたくさん絵日記と作文が寄せられました。

小学校低学年では体験・見学・読書などから、知る喜びが生きていきと表現され、小学校高学年と中学生では、会津の文化や伝統に誇りを持ち、高めていこうとする気持ちがあふれていました。

応募された皆様ありがとうございます。

市民憲章運動推進

第54回全国大会 佐倉大会

「ふるさと佐倉」から始まる・新たなまちづくり・歴史・事前・文化をテーマに、令和元年10月18日～20日の日程で千葉県佐倉市において行われました。

全国大会は、加盟団体38団体と一般市民を含め、約600名の参加のもと、盛大に開催され、各団体の事例発表を拝聴して、市民憲章運動の大切さや必要性を再認識しました。

市民憲章運動推進

第10回東北ブロック研修会

「なせば成る 心ふれ合う まちづくり」をテーマに、令和元年9月6日から7日にかけて山形県米沢市において行われました。

米沢の各種団体の活動事例発表から、地域の活性化や明るいまちづくりのヒントを学び、また、米沢市の豊かな歴史、文化にも触れることができました。



花いっぱい運動

会津の玄関口である会津若松駅前歩道に、観光客や駅を利用される方の心を癒すおもてなしとして、令和元年6月～11月にかけてベゴニアのプランターを設置しました。ベゴニアの花言葉には「幸福な日々」という意味があるようです。「会津に来て良かった」と感じていただければ幸いです。



会津若松駅前でのプランター設置の様子

クリーン鶴ヶ城作戦

観光客の皆様を清々しくお迎えするため、春の観光シーズン前の平成31年4月13日に「クリーン鶴ヶ城作戦」を実施しました。

これからも参加者の皆様のおもてなしの心をたくさんの方々に広め、ゴミのない、魅力あるまちをつくりましょう。

そして、観光客の皆様には「もう一度会津に行ってみよう」と思っていただけのように、市民の皆様全員でおもてなしをしましょう。

なりすまし詐欺被害の防止に関する研修会

会津若松警察署生活安全課の五十嵐係長を講師に招き、令和元年8月21日に研修会を開催しました。

還付金詐欺をはじめ、多くの事例を学び、DVD上映による高齢者を狙った詐欺の数々を知ることができました。「自分はだまされない」と

思っている、詐欺の手法は実に巧妙です。常に警戒心を持つことが大切だと感じました。

また、地域におかれましても回覧板等を活用するなど、詐欺に遭わないよう啓発に取り組んでいただきたいと思います。

文化財研修会

会津若松市文化課の近藤氏を講師に招き、令和元年11月19日、市内9箇所を文化財を巡りました。

- ▼蒲生氏郷の墓（栄町）
夏には紫陽花が見事
- ▼甲賀町口門跡（栄町）
鐘撞堂の跡地
- ▼天寧寺町土塁（花春町）
土塁の桜がきれい
- ▼直江兼統屋敷跡（山鹿町）
山鹿素行生誕の地
- ▼松平家墓所（東山町石山）
松平家二代から九代までの歴代藩主が眠る
- ▼御薬園（花春町）
室町時代に霊泉が湧いたと言われる
- ▼日新館天文台跡（山鹿町）
戊辰戦争で焼失



史跡「天寧寺町土塁」を見学

- ▼御三階（阿弥陀寺）
元は鶴ヶ城本丸にあり、密議の場であった
- ▼キリスト教信者が処刑された場所

市民憲章啓発活動

憲章文パネル贈呈

鶴城地区花見ヶ丘町内会の集会所移転新築に際し、令和元年7月29日、贈呈を行いました。



花見ヶ丘会館での贈呈

新年市民交歓会における市民憲章の唱和

令和2年1月6日開催



来場者の皆様と唱和を行いました

市民憲章作文コンクール 最優秀賞作品を紹介します

絵日記の部 最優秀賞

ほんをよみます

会津若松市立 小金井小学校

一年 長峰 愛花

わたしは、ほんをよむのが大好きです。ほんをよむとわくわくしてたのしくなります。そして、もつとよみたくなります。これからもたくさんほんをよんで、たのしみたいです。



だ い め い
小 金 井
小 学 校
一 年

ほんをよみます

氏名ながみね まなぐ

た	ん	こ	み	そ	た	む	ぎ	を		
の	ほ	れ	た	し	の	と	で	よ	わ	
し	ん	か	く	て	し	わ	す	む	の	し
み	を	ら	な	、	く	く	、	の	が	は
た	よ	も	り	も	な	わ	ほ	ん	だ	、
い	ん	た	ま	っ	り	く	を	い	ほ	
で	で	く	す	と	ま	し	を	い	ほ	
す	、	さ	、	よ	す	て	よ	す	ん	

小学二・三年生の部 最優秀賞

つるがじょうを

たんけんしたこと

会津若松市立 城北小学校

二年 星 明希

ぼくは、えんそくでいいもり山に行つてから、びゃつこたいやあいづのことにきょうみをもつようになりまし。そこで、つるがじょうふしぎはっけんツアーに行きました。

ボランティアガイドのおじさんが、つるがじょうのひみつをおしえてくれました。おしろの上にいるしゃちほこは、目がダイヤモンドでできているのですが、ぼくにはそう見えなかったのですが、おどろきました。また、火じのときに口から水をだすおまじないのいみもあるそうです。ほかにも、りゅうのうろこをあらわしているはしらがありました。りゅうは、くもをよんで雨をふらしてくれるそうです。かわらのさきには、水のうずとなみをイメージしたものがあつたり、やねの三角のぶぶんには、魚のようがありました。つるがじょうが火じにならないように、むかしの人はいろいろなくふうをしていて、すごいなとぼくは思いました。

そのあとにおとうさんとおしろの中に入つてみました。いろいろなものが出てんじされていましたが、ぼくが一ばんきょうみをもつたのは、びゃつこたい



一人一人のがおえです。石田わすけや、しのだぎさぶろうなど、ドラマで見て知っている名前がありました。

あいづの名をふきゅうのものとすためにと、ドラマで言っていたことを思い出して、かんどうしました。

こんかい、つるがじょうをたんけんしてみ、あいづのことがますますすきになりました。はじめてしたこと、がたくさんあつたので、また、ツアーにさんかしたりして、べんきょうしたいと思ひます。そして、あいづのれきしやびゃつこたいのことをしらない人に教えられるようになりたいです。



観光地がきれいな理由

会津若松市立 鶴城小学校

四年 菅原 杏樹

わたしのおじいちゃんは、春夏秋冬つるが城に写真をとりに行きます。カメラマンみたいに写真をとるのがとても上手です。ある日、わたしが学校へ行く時、ほうきとちりとりを持って、歩くおじいちゃんのすがたが見えました。おじいちゃんは、県立博物館とつるが城の周りを落ち葉拾いをしていました。自分の家の周りではないのに……。

そこで、どうして自分の家の周りではないのに、そうじをしているのが気になる、しつ問してみることにしました。おじいちゃんが答えた理由は、四つありました。一つ目は、つるが城、博物館、文化センターなどは、「文化ゾーン」です。文化ゾーンがきたなかつたら、観光客の人達が、「あいつはきたない(せいびぎされてない)んだな。」と、いやなイメージがわいてしまうからです。

二つ目は、きたないと思ひ市に相談した時に、「あいつ祭り前には、やりませう。」と言われ、もうしゅう学旅行生もきているから、間に合わないと思つたからです。

三つ目は、去年、さんぽをして、草がぼうぼうの道を歩いて、少しふゆかいな気分になつたからです。

四つ目は、ぶつきょうの教えで六度万業という言葉があつて、その意味は、六つの意味があつて、その中の一つをやることによつて、六つのことをやつたことになるという意味で、それをやってみたくて、やつたそうです。

朝、すずしい時にやるそうです。いつもいつも、一人で、少しずつ少しずつ、出来

るはんでやっています。おばあちゃんが言うには、朝から夕方までずっとそうじして帰つてこなかつたこともあるんだよと教えてくれました。

近所の人からは、「いつもいつもおじいちゃん、暑い中おつかれさまです。ありがとうございます。」とお母さんが言われたそうです。

また、冬の時、わたし達の通学路や、じよせつ車がこない道などを、シャベルを持って、雪かきして通れるようにしてくれます。

わたしは、前から雪かきをしてきていたことは、わかつていたけれど、落ち葉拾いや、草むしりをしていただくことがわかつたのは、今年の六月後半です。

親切なことをすると、自分は、後からも、助けてよかつたなと思えるし、親切にされた相手も、いやな気分ではなく、いい気分になります。

おじいちゃんがやることは、一人への親切ではなく、いろんな人への親切です。相手を思つて、だれに言われてでもなく、自分一人であんなに親切に出来るおじいちゃん、わたしの一番の自慢です。



会津の人の心

会津若松市立 一箕中学校

三年 佐藤 結菜

大人はもちろん、子供でも行った事があるという人が多いと予想できる修学旅行や遠足。私は実際に修学旅行は一回、遠足や校外学習は十回程度行ったことがある。一番最近、今年の四月に行った、中学校生活を締めくくる修学旅行だ。歳を重ねるごとに感じる事や考える事は増えていったが、どこに行つても共通して感じる事が一つだけあつた。それは、「会津のような田舎に住んでいる人は優しく接してくれる」ということだ。

私は今回、中学校の総合のまとめとして、総合発表のテーマを「会津の魅力VS都会の魅力」にした。そして「日本全国の人達は、田舎と都会のどっちに住みたいと思つているのか。」という疑問を解決するために、インターネットで様々なサイトのアンケートを集めた。私は、最初、どうせ都会の方が住みたいと思う人が多いと思つていた。しかし、たくさんのアンケート結果の中には、田舎に住みたい人の方が都会に住みたい人よりも多いものもあり、とても驚いた。しかし、修学旅行を思い返してみると、東京にいる人よりも会津にいる人の方が話しかけやすそうだったし、会津のように私達に話しかけてくれる人は東京には誰もいなかった。また、中学一年生の遠足で新潟に行った時のように、私達の目的地まで周りを案内しながら連れて行つてくださると、そんな事もなかった。そういう点を考えると、アンケートの結果にも納得できるような気がした。また、修学旅行で気づい

た会津の良さはもう一つあつた。それは、帰りのバスの中のバスガイドさんからの質問に対する、クラスメイトの返答だった。バスガイドさんが、「東京と会津を比べて会津の方が好きだという人は手を挙げてください。」という質問をされた。すると、クラスの大抵の人が手を挙げた。さらに、親が待つていた所の近くまでくると、「やっぱ会津は落ち着くわ。」と言つていた人もいた。東京の方が景色が新鮮で、あまり手を挙げる人はいないのではないかと思つていた私は、この結果に驚いた。でも、やっぱり会津はたくさんの人から愛されているなと感じた。これらを中心として、色々な新たな発見があつた修学旅行だった。

このようなエピソードのように、修学旅行や遠足に行くと、「会津や会津の人の良さ」を知ることができる。便利な都会でなくても、「人の良さ」という部分ではこの会津はすごい場所だなということとを改めて感じる事ができた。これからは、田舎でも、会津出身だということに誇りと自信を持つて生きていきたい。

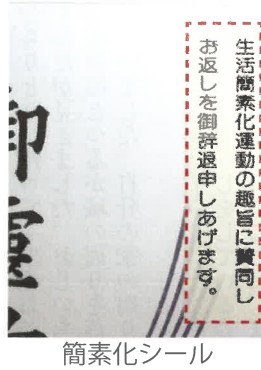


「小さな親切」運動

誰もが住みやすい社会を実現するため、思いやりの心を育てる「小さな親切」運動を広げるための活動を行っています。皆さんのまわりの親切な行いをしていてる方を募集し、県本部に推薦して実行章の贈呈（表彰）を行います。

生活簡素化運動

生活の中の無駄をなくす簡素化を推進するため、その一環として、葬祭のお返しの辞退を示すシールを配布していますので、ご希望の方は下記までお問い合わせください。

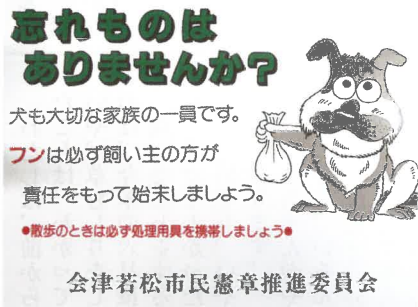


簡素化シール

飼い主のマナー

散歩中に犬ふんを道ばたや公園などに放置していませんか？犬ふんを片づけ、持ち帰ることは、飼い主のマナーの一つです。皆さんが気持ちよく暮らせるきれいなまちをつくりましょう。

なお、犬ふんの持ち帰りを呼びかけるシールを配布していますので、ご希望の方は下記までお問い合わせください。



犬ふん持ち帰り啓発シール

みなさんも一緒に活動しませんか？

推進委員募集中

本会では、一緒に活動する推進委員を募集しています。市民憲章の普及・啓発や、市民の皆さんが心を合わせて取り組むことのできる実践活動を行っていますので、興味のある方はお気軽に下記までお問い合わせください。

【社会福祉部会】

▼「小さな親切」運動
皆さんのまわりの親切な人を募集しています。

▼生活簡素化運動

生活の中の無理・無駄・見栄をなくす運動を推進していきます。

【都市美化部会】

▼犬ふんマナー向上等に関する運動
清掃活動への参加や啓発シールの配布を行っています。

▼クリーン鶴ヶ城作戦

鶴ヶ城とその周辺の清掃を実施しています。

▼花いっぱい運動

会津若松駅前には花のプランターを設置しています。

▼花園コンクール

個人・団体・学校の花壇を募集し、表彰しています。

【文化教養部会】

▼作文コンクール
小中学生を対象に、絵日記と作文を募集し、表彰していきます。

▼各種研修会

推進委員自らの教養を高めることを目的に、防犯の研修、文化財研修、市長講話、議会傍聴などを開催しています。

編集後記

社会福祉部会長 五十嵐久政

今年度は会津若松市制施行120周年という記念の年でした。2020年は東京オリンピック一色になるでしょう。私は昨年12月に市内の小学校の学習発表会に招かれました。そこでは「共に生きる」あたたかいまちづくりを目指して」というテーマでワークショップが行われ、お金をかけずに人間らしく生きることについて学ぶ機会を得ることができました。これは市民憲章の理念にも通じることです。

小学校から、このように教養を育み、豊かな心を育てる教育が行われていることに感動し、また、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも私たち市民一人ひとりが手を取り合い、市民憲章を推進し、私たちの郷土を住みよい明るいまちにする取組を進めていきましょう。

広報委員（五十音順）

- 五十嵐久政・遠藤志津子
塚原多美子・坪田 啓子
村岡トキ子・渡部 義助

「安心・安全」なまちづくり



会津若松市民憲章推進委員会

委員長

成田 源一郎

平素は、市民憲章運動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

会津若松市民憲章は戊辰百年を契機とし、先人の偉業をしのび、将来の会津若松市の「まちづくり」の指針として昭和43年5月3日に制定されました。

さて、昨今の社会情勢を見ますと「隣は何する人ぞ」という地域の人間関係の希薄さを感じられてなりません。今こそ、昔から言われておりますように「向こう三軒両隣」の助け合い精神が必要ではないでしょうか。

また、テレビや新聞等でお見限り、児童虐待やあまりに自中心的であるにもかかわらず、個人の自由だと勘違いをされている人が多いようですが、「ルールを守る」「きまりを守る」ことが本当の自由につながると私は思っております。

さらに、昨年の自然災害は「災害は忘れたころにやってくる」という教訓が、「災害はすぐに来てくる」に変わって来たように感じます。自然災害を未然に防ぐことは難しいため、「減災対策」が急務となっています。

私たちは市民憲章の理念のもと、「安心・安全」「住んで良かったまち」を目指し、活動を継続して参りますので、市民の皆様、ご理解とご協力をお願いいたします。

市民憲章やこの記事に関するお問い合わせ
▼市環境生活課（事務局）
（電話39・1221）